

企画展 (7月25日(水)～9月23日(日)開催)

軍医が語る戦時救護

開催趣旨

かつての戦争においては、戦争の長期化と戦況の悪化にともない、戦傷病者の数は、陸上、海上の区別なく増え続けました。そうした中で軍医たちは、当時の限られた医療体制のもと、一人でも多くの戦傷病者を原隊に復帰させるため、最前線の戦場やそれぞれの現場で彼らの救護、治療にあたりました。

今回は、そうした戦中の戦傷病者の受傷病の実態と、彼らに対する救護について、軍医が当時記録した戦傷病者の診断書や関連写真、後の軍医の証言や手記などにより紹介します。戦中の戦傷病者のさまざまな受傷病の労苦を、主な受傷地別に見ることで、戦傷病者の労苦が生まれた背景と軍医たちが果たした役割を考えます。

また、当館が主に昨年度に制作した軍医の証言映像も上映します。戦場で負傷した戦傷者の救護だけでなく、南方で飢えや病で苦しんだ多くの戦病者や、航空基地での飛行訓練中の事故による負傷者など、さまざまな場面で戦傷病者の救護、治療にあたった軍医が自らの体験を語ります。食料や医薬品の不足から医療体制が十分に整えられない中で、軍医たちはどのような思いで戦傷病者の救護にあっていたのでしょうか。展示とあわせてぜひご覧ください。

主催： しょうけい館（戦傷病者史料館）
会期： 平成24（2012）年7月25日（水）～9月23日（日）
会場： しょうけい館1階

入場料： 無料

開館時間： 10：00～17：30（入館は17：00まで）

休館日： 毎週月曜日（祝日は開館）、9月18日（火）

内覧会： 平成24（2012）年7月24日（火）15：00～17：00

関連イベント： ① 講演会「軍医が語る戦争体験」

（講演者）丹羽正治（元東海大学医学部教授）

（内容）西部ニューギニア等に従軍した陸軍軍医の方に当時の体験をお話し頂きます。

（日時）8月4日（土）14：00～15：00 （場所）1階証言映像シアター

*入場無料 *電話による事前申し込み（先着30名）

② 学芸員による展示解説

7月28日（土）、8月11日（土）、9月15日（土）

毎回14：00より 約30分程度、申込不要

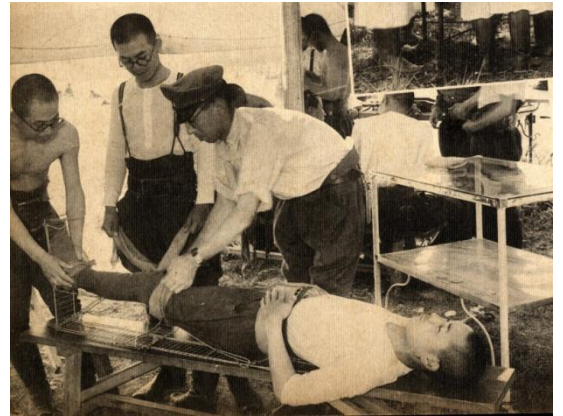
主な展示資料

<軍医の養成>

戦争が長引くにつれて、軍医が不足したため、医師を応召するだけでなく、大学医学部や医科専門学校など当時の多くの医学徒を軍医として養成することが求められました。



大学医学部での軍医による特殊講義



陸軍軍医学校の外科演習

<戦地での救護>

戦地では、負傷兵を一刻も早く後方の医療施設に運び、手当てを行うことが求められました。軽傷者から救助し、一人でも多くの者を快復させ、原隊に復帰させることが求められました。

(陸軍)



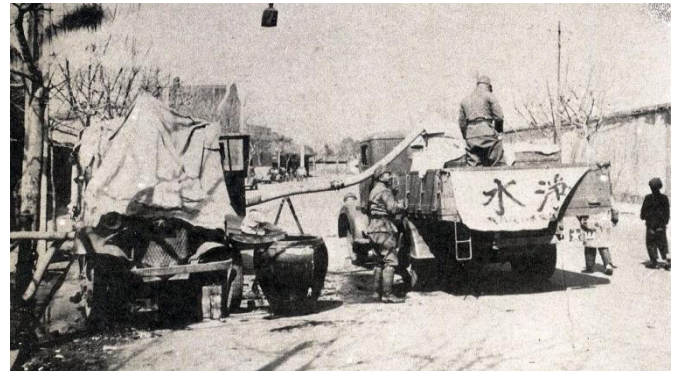
日中戦争（徐州作戦 負傷兵を背負う兵隊）
（昭和13年、毎日新聞社提供）



負傷兵を船で搬送



トラックで搬送した患者を収容



防疫給水活動

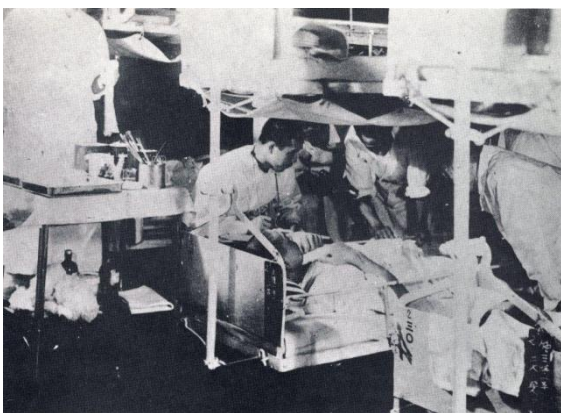


ポスター「負傷戦士を労りませう」
(支那事変傷痍軍人後援会)



三角巾

(海軍)



艦船内の医務室での治療



病院船から運び出される患者

* 海軍の写真はいずれも『海軍醫務・衛生史 第二巻』(柳原書店、昭和61年刊)より

関連映像や図書の紹介

(軍医の証言映像の上映)

証言映像シアターでは、軍医の証言映像 6 作品（各約 20 分）を中心に、関連する戦傷病者の証言映像をあわせて上映します（いずれも当館制作、作品名の後の括弧内は軍医の配属先と主な救護内容）。

*陸軍軍医

「インパール作戦の最前線で」（インパール）

「天地の恵みを知る～南方で終戦を迎えた軍医～」(中国／ニューギニア)

「本土決戦前の軍医教育～元陸軍衛生部見習士官の記憶～」(軍医学校教育／東京空襲救護)

*海軍軍医

「国のために生きて～元海軍軍医中尉の記憶～」(特攻隊飛行訓練基地／飛行場設営隊)

「元海軍薬剤少尉の記憶」(横須賀海軍病院／横須賀空襲)

●会期中は証言映像シアターで、会期終了後も館内パソコンでいつでもご覧いただけます。

その他、これまでの当館が制作した戦傷病者の証言映像についても、館内パソコンにてご自由に検索・閲覧できます（団体には無償で証言映像DVDを貸し出しています）。

(軍医の関連図書の紹介)

図書閲覧室では、当館がこれまでに収集した軍医の体験記を紹介します。

所在地：〒102-0074 東京都千代田区九段南 1-5-13 ツカキスクエア 九段下

(交通案内)

●地下鉄の場合

「九段下」駅 6 番出口から徒歩 1 分
(東西線、半蔵門線、都営新宿線)

●都営バスの場合

「九段下」停留所から徒歩 1 分
(高 71 系統 九段下～高田馬場駅)



*駐車場はありません。公共交通機関をご利用ください。

*車椅子で来館される場合は館の A 入口をご利用ください。

ホームページ：<http://www.shokeikan.go.jp>

問い合わせ先：(電話) 03-3234-7821 (FAX) 03-3234-7826 (担当) 学芸課 植野・木龍